



福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

第60号

2010



バックネット越しに学舎を望む

CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成21年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 北嶺会館改修について 野球部	6~7
母校近況	8
(生徒会だより、部活動大会成績報告)	
母校近況(進路状況)	9
平成20年度決算報告・会務報告	10
平成21年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
学校点描	12
校内企業説明会 ゴルフコンペ・事務局だより	

郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

定期総会のお知らせ

■平成22年度定期総会を下記のように開催いたします

- 日 時 / 6月26日(土) ●午後5時00分より 総会
●午後5時50分より 懇親会
- 場 所 / 郡山ビューホテル 郡山市中町3-1 ☎024-924-1111
- 会 費 / 5,000円(平成21年度卒業生は3,000円)

※詳細については事務局へお問い合わせください

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※同封の振込取扱票通信欄の総会参加費に○をつけて参加費を納入して下さい

- 日立支部総会 ●日時 / 平成22年6月中旬
- 場所 / 未定

会長あいさつ 「継続は力なり」

同窓会会長 増子久治



同窓会々員の皆様には御壮健にて御活躍の事とお慶び申し上げます。同窓会ならびに学校へ多大なるご指導ご協力をいただき衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は長く続いた自民党より民主党へと政権が代わりました。福島県も自民党主導の保守王国と言われておりましたが、衆議院選挙では県内5区すべてにおいて民主党の圧勝という県民の審判でありましたが、選挙マニフェストに揚げた内容をどこまで実現出来るか見守りたいところです。

同窓会は本部、日立支部、東京支部、水戸支部に組織されており。なお、本部と日立は毎年、東京と水戸は隔

年で総会を開催しております。昨年は全てで開かれました。総会へ出席する時、その席上でないとお会い出来ない方が多数おります。その方々と再会でき話をする事が楽しみとするところです。

11月28日に開かれた水戸支部総会は、設立50周年を記念する総会となりました。初代支部長として長きに亘り活躍された山崎功氏、その後を継いだ八代正雄支部長、また今日まで支えてこられた役員会員の皆様には敬意を表すと同時にこれからの発展を祈念いたします。

今回は同窓会報と学校の歴史について述べてみたいと思います。今回記念すべき60号発刊となりました。人間であれば還暦を迎えた事になります。逆算すると昭和25年が初刊であります。ここで学校の歴史を紐解いてみます。

第二次世界大戦の最中の昭和19年国策に依り当時の郡山

商業学校が郡山工業学校へと改称された事が始まりです。

終戦後の昭和21年福島県郡山商工学校へと改称、翌昭和22年商業科は県に移管され、工業科を市立のままとし福島県郡山工業学校（昭和23年学制改革により福島県郡山工業高等学校と校名変更）となり廃止になる寸前だったそうです。それを知った生徒、先生、父兄の皆さんは学校存続へ立ち上がり街頭に立ち署名運動や校舎建築の募金活動を行うと同時に市内有力企業への募金の依頼に奔走、時には映画館へお願いに上がり映画の幕間に観客の皆さんに訴えたそうです。目標に向かって行政が含む多くの関係者への努力が功を奏し学校存続、念願であった独立校舎も市内桃見台の地（土地は当時市内の実業家、今泉貞雄氏の寄付による）へ、日本一小さな工業学校校舎が完成したのは昭和24年7月です。引渡しと同時に間借りしていた郡山商業高校より大八車に机や教材を積んで移転、学校存続と独立校舎を建てられた喜びのなか新校舎に於いてその数ヶ月後、会報第

1号が誕生しました。その後、昭和29年4月県立移管により校名を福島県立郡山工業高等学校と改称しました。卒業された皆様の勤勉と優秀さが評価された事と、戦後の右肩上がりの景気に支えられ大きく飛躍し、昭和38年に開設された福島県立郡山西工業高等学校と昭和52年に統合され全国有数の工業高校へと発展して参りました。

昭和から平成に年号が変わった元年の同窓会総会で、40年の長きに亘り会長として後輩を指導された渡辺達英氏より先崎一郎氏へ引き継がれました。それを機に会報を発展的に見直し地元を離れ遠方で生活されている会員の皆様にも学校や同窓会の様子を伝えることにしました。内容も庶務的な報告に終わらせず本部や支部の状況、生徒の活躍等を盛込んで全国の会員の皆様へお届けする事にしました。会報の広告掲載に協賛して下さる企業の皆様、さらに毎年ご寄付をいただいております会員の皆様には心より感謝申し上げます。

新会員となられた皆様、卒業おめでとう。皆さんが本校で学んだ事をこれからの生活に役立ててください。ご承知の通り「百年に一度」の不況と言われ、日本経済は厳しい局面に立たされております。

このような時、実社会へ旅立つ皆さんは大変だと感じられるでしょうがそれはいつの時代も同じで繰り返してきます。その時々、自分が対応出来る様に自己研鑽に励む事が大事です。同窓会の皆様も各所で活躍されております。時には相談するのも一考でしょう。また、環境システム科の皆さんは残念ながら最後の卒業生となりますが、これからの皆さん一人一人の活躍に依り本校に環境システム科が存在した事を誇れる時が来るよう期待するところです。進学される皆さん。学問は姿の見えない大きな宝であります。将来、世の中に生かされるよう心して学んでください。これからの会員各位の益々のご活躍とご多幸を祈念し結びと致します。

校長あいさつ 「卒業生への期待」

校長 兼田 信男



同窓会の皆様方には日頃より母校に対してご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび新たに三百十有余名を同窓会に迎えていただきましてありがとうございます。さて、今年度は同窓会水戸支部が設立五〇周年を迎えられました。一月にはこれを記念する支部総会が盛大に開催されました。心からお祝いを申し上げます。

また一〇月には、昭和二九年度に旧郡山工業高校を卒業された方々数名が、同級会を郡山で開いた後、その足で久々に母校を訪れました。北工になってから初めての訪問だったそうです。広々とした

よりも回復が遅れているようにさえ見えます。

敷地に配置されたゆつたりとした校舎内を見学しながら後輩たちの活躍ぶりを聞き、安心された様子でした。生徒からはもちろん、校長の私から見ても大先輩の皆さんでしたが、中にはもう一度このような恵まれた環境で勉強してみたいとおっしゃった方もおいででした。

通常、本校は、旧郡山工業高校・旧郡山西工業高校統合の昭和五二年を新しい出発点として年齢を数えています。私たちはやはり両工業高校のDNAを受け継いでいるのだということを経験した場面を実感しています。

一昨年の秋にアメリカから始まった世界同時不況からすでに一年以上が過ぎました。立ち直りを見せる国々も少なくない中、日本は依然として先が見えない状況です。失業の問題や新規卒者の就職の難しさはますます深刻さを増して、むしろ震源地アメリカ

しかし、本校生の就職内定率の推移をみると、このような厳しい環境の中にあってもなお多くの生徒が各企業に新規採用していただいております。非常にありがたく感じます。要因としては、本校生自身が厳しさを自覚し、事前に精一杯の準備と努力をしているということはもちろんありますが、私は、先輩同窓生の皆さんがそれぞれの立場で今も活躍されておられることが、そのまま後輩たちに対する期待として投影されている結果であるように思います。同窓生の皆さんの益々のご活躍をご祈念申し上げます。

終わりに、同窓会の皆さんには新会員としての三百十有余名の卒業生をどうか温かく迎えて下さいますようお願い申し上げます。また、卒業生の皆さんには、先輩の同窓生と同様一日も早くそれぞれの分野で活躍してくれることを願って心からのエールを送ります。

新会員のことば



電子科
今泉 吉里

今年から、私達は郡山北工業高等学校同窓会に仲間入りさせていただきます。不安なこともありますが、これからは郡山北工の同窓生として自信と誇りを持って歩んで行こうと思います。

今年度は不景気の影響もあり就職活動が困難でした。しかし、そんな中でも多くの生徒が内定をいただき就職できることとなったのは、様々な分野でご活躍されている先輩方の信頼があったからだと感じています。先輩方が築き上げてきた郡山北工は、私達にたくさんのお話を教えてくれる先生のようなものであり、目指すべき目標でもあります。今はまだ先輩方の足元にも及びませんが、今後は後輩達に誇れるような郡山北工の同

窓生になれるように一人一人努力していきます。

同窓会に入会することで私達はひとつの責任を担うこととなります。これから私達次第で母校が良くも悪くもなってしまうかもしれません。しかし、先輩方が良くして下さったこの郡山北工で学んだ私達は、その良い伝統を守っていくことが出来る筈です。そうやって良い伝統をずっと受け継いでいければと思います。

私達は、まだまだ未熟者で分からないことや戸惑うことも多いと思いますが、自分の人生を精一杯努力し楽しんで歩んで行きますので、これからはご指導・ご助言いただければ幸いです。よろしくお願ひ致します。

平成21年度 同窓会定期 総会報告

平成21年7月4日(土)午後5時からホテルハマツにおいて、平成21年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が147名の参加を得て開催されました。

開会の言葉

古川弘同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を開会しました。

会長の挨拶

増子久治同窓会会長より、来賓の皆様をはじめ支部関係や学校関係ならびに全国から参加していただいた会員の皆様に対して御礼がありました。郡山工業高校にはじまり郡山西工業高校そして現在の郡山北工業高校について学校の沿革を話された後、会長自身の学生時代のエピソードも紹介されました。そして「同窓会という名の下に3つの校名の同窓生が一緒に集いお互いの友情を深めあう素晴らしい会である……懇親会では是非とも親交を深めていただきたい

……」と述べられ話を結びました。

校長挨拶

兼田信男校長より同窓会定期総会に対してお祝いの言葉をいただいた後、学校の近況について報告がありました。「生徒達は勉強や部活動そして資格取得に励むと共に活躍しています……昨年度において、ソフトボール部の部員が福島県少年男子選抜チームのメンバーとして国体に参加し優勝、ジュニアマイスター顕彰制度では北工が県内で第1位、電気部が全日本学生児童発明くふう展で恩賜記念賞を受賞……今年度、就職に関しては厳しい状況にあります……どうか先輩方、今後とも後輩を宜しく願います」と述べられ話を結びました。

支部長代表の挨拶

各支部を代表して日立支部の丸山正一支部長よりご挨拶をいただきました。自己紹介の後、日立支部の現状について「会員数は81名でOBの方は30名です。ほとんどの方が日立製作所勤務でまともには良いです。毎年新人の方が2〜3名ずつ入って世代交代も行われています。日立支部は毎年支部総会を開催しています……今後とも学校および同窓会との繋がりを保って行きたい……」と話されました。

最後に、学校と同窓会の益々の発展とご参会の皆様のご健康を祈念し話を結びました。

議長・副議長選出および書記任命

事務局一任となり、柳沼善久事務局長より、議長には北工54年度建築科卒の田母神一吉氏、副議長には北工59年度建築科卒の折笠宏一氏、書記には北工53年度工化科卒の澁谷栄一氏が提案され承認されました。

議事

平成20年度庶務報告は柳沼善久事務局長より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告がなされた後、質疑を経て拍手を持って承認されました(併せて平成21年度職員異動も報告)。平成20年度決算報告は船山卓也事務局会計によって行われ、中村弘監事による会計監査報告の後、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成21年度事業計画案は柳沼善久事務局長より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。平成21年度予算案は船山卓也事務局会計より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

役員改選については、選考委員会を設け別室にて選考会を行い、その後総会に新役員案が提示され拍手を持って承

認されました(11頁参照)。その他として、事務局より一般寄付のお願いがありました。議長解任の後、新役員が紹介され新会長の増子久治氏より挨拶がありました。

「閉会のことば」

橋本正喜同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を閉会しました。

「アトラクション」

今年のアトラクションは本校吹奏楽部による演奏が披露されました。演奏曲目は、間近に控えたコンクールの自由曲「仰ぎ見ること〜泰山北斗の如し」と「北工校歌」。会場の皆さんは威風堂々と

した演奏に感銘を受け盛大な拍手を送りました。

「懇親会」

伊勢野敏雄同窓会副会長の開会の言葉の後、増子久治同窓会会長の挨拶、兼田信男校長の挨拶、来賓祝辞を代表して同窓会相談役の植田英一様PTA会長橋本康勝様よりご祝辞をいただき、水戸支部顧問の山崎功様の乾杯のご発声により懇親会に入りました。また、ゴルフコンペの表彰式も行われ参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に古川弘同窓会副会長の言葉で懇親会を閉じました。



新役員 左より 増子会長 古川、伊勢野、熊田各副会長
加藤、柳沼、笹山各監事



吹奏楽部によるアトラクション

支部だより

東京支部



東京支部長 小澤 満

新年明けましておめでとございます。

昨年度の東京支部の会員数は1,213名で、母校の卒業生総数が22,707名(平成21年3月現在)です。で、卒業生の5.34%の会員が当支部に所属していることになっていきます。しかし、転勤、引越、死亡などがあつて、なかなか動態がつかめないのが実情です。ちなみに支部総会の案内状を660通発送しましたが、返事を貰ったのは多くはありませんでした。

さて、東京支部総会の開催は隔年のため、今年(平成22年)の実施はありません。

昨年6月6日(土)上野精養軒で開催した総会について報告致します。総会第一部では、恒例により2年間の活動報告、役員の一部変更の審議等を済ませ終了しました。

二部の懇親会には33名の会員が参加。ご来賓として藤田登教頭先生をはじめ、増子久

治同窓会本部会長、阿部昇二事務局長次長、水戸支部から八代正雄支部長、山崎功顧問。日立支部から丸山正一支部長のご出席をいただきました。

開会の辞のあと、小澤当支部長の挨拶、増子久次同窓会本部長の祝辞のあと、小池芳光当顧問の乾杯の発声により懇親会に入りました。教頭先生から郡山北工業高等学校の現状等の報告がありました。

郡工・西工・北工の沿革、現在の生徒数、平成20年度から環境システム科の募集の停止、進学状況、就職状況等。さらに生徒の部活動状況が掲載された各紙新聞記事のコピーも配布され、その活躍ぶりもお聞きしました。また日立支部

長、水戸支部長のご祝辞もいただき、東京支部の活路も見えだしました。久しぶりに会った人も居たようで、盛会で有意義なひとときを過ごして

いただけたと思っております。二次会は上野駅パンダ改札口(最近開設)の脇にある「かよひ路上野店」で盛り上がり

ました。ここで紙面をお借りして東京支部が今後期待していることについて記載させていただきますことに致します。前段で申

しましたが総会参加者が33名でした。不景気のために前回より少なかったのかもしれない

せん。昭和40年頃までは多くの優秀な人材が都会に流入したと云われております。しかし近年、少子化が進み地元で就職できる時代が訪れている

ためか、あえて都会に就職しないで済むのでしょうか。若手会員の加入が望まれるところ

です。平成20年度本校の就職の状況は、大学等の進学を除いても概ね県内でとどまっています

ようです。高齢化と物故者が年々増え会員が減少するなかで、次年度総会は更に盛

会になるよう会員皆さまのご支援をお願い致します。

日立支部



日立支部長 丸山 正一

平成22年の新しい年を迎え同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。

国内および世界の経済状況も一部回復基調も見受けられますが、まだまだ厳しい状況が続いています。日立製作所の

所員で構成されている日立支部も例外ではなく、会員一人一人も、その中で仕事を進め

て行くという厳しい状況が続いております。しかし日立製作所は、今年で創業100周年という節目の年に当たるこ

とから、これを機会に次の

100年に向けて頑張つて行くこととしている状況です。日立支部としても、更に会員同士の絆を深める同窓会活動を進めて行くこととしております。

日立支部は現在、会員数81名(内OBの方30名)で同窓会活動を展開しております。現役の方々、職場の中核であり、多忙な日々を送られております。したがって同窓会活動は、支部総会、本部総会および他支部総会への参加が中心になっております。特に活動のメインとして、支部総会、

総会は、毎年開催を実現し、会員相互の交流の場を作ろうと努力しております。

平成21年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

①日立支部総会の開催
今年度は6月27日(土)に実施致しました。当日は兼田校長先生をはじめ、同窓会本部から増子同窓会本部会長、

本田事務局次長、東京支部から小澤支部長、水戸支部から山崎顧問、横山副支部長、加藤理事長の皆様方多数のご来賓をお招きし、盛大に開催いたしました。

総会第一部では、一年間の活動方針と計画に関する内容を討議いたしました。

更に今年度は、同窓会本部の増子会長の御計らいにより、「ヒューマンポテンシャル研究所」所長の渡辺勇氏による講演会を開催させていただきました。

ました。渡辺勇氏は独特の山形弁で、かつ歯切れの良いテンポで、会員に元氣の出る秘訣について講演していただきました。笑い有り、感心させられる事有り、本当に心に残った講演となりました。

第二部の懇親会では、来賓の方々の挨拶および母校の状況報告をいただき、更には各支部の状況についてもご紹介いただきました。今年度も、

大みかブロックに1名の新人が入り、懇親会は新人歓迎会を兼ねた内容となりました。徐々に若手が増えてきたというところもあり、活気のある明るい懇親会となり、若手の方々とOBの方々の故郷の話や、OBの方々同士による学生時代の話などは、このような機会でないとならないこともあり、例年以上に盛会な内容となりました。

②本部総会への参加



平成21年度郡山北工同窓会日立支部総会

7月4日(土)にホテルハ
マツで開催されました本部総
会には、日立支部からは4名
で参加させていただきました。
活発な活動紹介や、在校生に
よる吹奏楽のアトラクション
もあり、盛会な本部総会とな
り、支部としても刺激を受け
る内容で楽しい一時を過ごさ
せていただきました。

以上、平成21年度の活動状
況について紹介させていただきました
でしたが、日立支部としていま
しては、従来から継続してい
ます支部総会の毎年開催を基
本とし、会員同士の情報交換
母校および同窓会本部とのパ
イプ役など、支部としての役
割をなお一層意義あるもの
にしていきたいと考えておりま
す。母校と同窓会の益々のご
発展とご繁栄を、そして関係
する皆様方のご健勝とご多幸
をお祈り申し上げます。



水戸支部長
八代 正雄

水戸支部

平成二十二年の新春を迎え、
お慶び申し上げます。
平成二十一年は「新」と名
づけられた。

自民党から民主党(三〇八
議席と大躍進)に政権交代、
新型インフルエンザ、裁判員
制度の開始等が「新」となっ
たと思う。経済は世界的に不
況となり、企業業績が悪化し、
「派遣切り」「内定取り消
し」「賃金カット」など雇用
不安が噴き出した。

一方スポーツにおいては、
世界野球大会で優勝、松井選
手のアメリカでMVP獲得、
イチロー選手の九年連続二百
本安打、石川遼選手の最年少
ゴルフ賞金王等すばらしい年
でもありました。

同窓会の皆様は夫々の職
場・組織で末永く頑張ってい
ただきたいと思えます。今年
こそ景気の回復と災害のない
穏やかな年になりますようお
祈り申し上げます。

さて、平成二十一年度の水
戸支部の活動と二十一年度の
予定について報告します。

- 四月八日 第四回理事會 (五十周年記念誌作成計画 審議)
- 五月二十七日 第五回理事會
- 六月六日 東京支部総会出席 (八代支部長、山崎顧問)
- 六月二十八日 日立支部総会出席 (山崎顧問、横山副支部長、

加藤理事長)

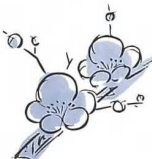
- 七月四日 本部総会出席 (八代支部長、山崎顧問、坂本理事、渡邊理事)
- 同日のコンペに三名参加 (八代、山崎、橋本盛)
- 七月二十二日 第六回理事會 (五十周年記念誌原稿回収)
- 九月十五日 第七回理事會 (記念誌審議、総会準備)
- 十一月二十八日 水戸支部総会

水戸支部結成五十周年記念
行事を開催。支部長、顧問の
挨拶、ご来賓の増子同窓会会
長、菊池教頭先生よりご祝辞
をいただき、乾杯後、柳沼事
務局長、小澤東京支部長、丸
山日立支部長からご祝辞をい
ただきました。歓談、各プロ
ック紹介後、五十周年記念誌
を拝読しながら、五十年の歩
みを山崎顧問より写真スライ
ドと説明があり、多数の方が
とても若かりし頃、懐かしく
思い出しました。そして、懇
親会も次の六十周年記念に向
けて盛り上がり無事終了しま
した。

- 平成二十二年年度の予定
- 三月 第八回理事會 幹事ブロック引継ぎ
- 六月 本部総会出席

本部コンペ参加
日立支部総会出席

- 八月 行事打合せ
 - 十月 行事開催
- 最後になりましたが母校の
益々のご発展と、同窓会のご
発展、ご繁栄、そして同窓会
の皆様の益々のご健勝とご多
幸をお祈り申し上げます。



北嶺会館(旧名称 同窓会館) 改修について

いつも同窓会の皆様にはお
世話になっております。また
この度、同窓会館の改修につ
いて会報で特集を組んでいた
だきありますが、ごさいます。
まず、同窓会館の名称変更
についてご報告致します。昭
和55年に同窓会の皆様のご尽
力と同窓会館を建設していた
だき、その後「同窓会館」と
いう名称で多くの先輩達が親
しみ利用してきました。この

建物は完成後間もなく同窓会
より県に移譲され、現在は県
所有のものとなっていること
や、また同窓会からの要望も
あり、名称変更を検討した結
果、平成21年度より名称を
「北嶺会館」と変更しました。
事後承諾となつてしまいま
すようお願ひ致します。なお、
本文でも以下「北嶺会館」と
させていただきます。

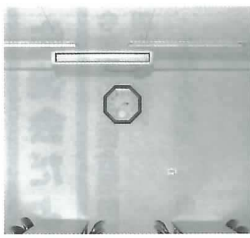
営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1
☎ (024) 945-2882 FAX (024) 946-2875
E-mail: tamura-t01@isis.ocn.ne.jp



1階食堂エアコン
(天井吊り下げ式)

この北嶺会館ですが、各運動部の合宿や各種会議等で大変有効に活用させていただいており、夏期休業中などは合宿で利用していない日は無い程盛況です。現在は北嶺会館運営事務局が体育科に置かれ日常的な管理運営を行っています。しかし、皆様もご存じの通り、完成より約30年経過し老朽化が進んでおります。さらに近い将来、屋根の防水シートへの張り替え工事を行う必要が分かります、その工事に膨大な費用がかかることを見込まれます。そのため、平成19年度より「同窓会館改修費（現在は北嶺会館改修費）」を在校生から徴収し積み立てるようになりました。しかし、防水シートだけでなく傷みや使い勝手が悪いものがあります。そこで、少しでも良い環境のもとで利用できるようと、この積立金の一部で少しずつ修理・改修をしていくことにしました。以下に今年度の改修箇所を紹介いたします。

① 北嶺会館1階和室2室
および食堂へのエアコン設置

「野球部の近況報告と今後について」

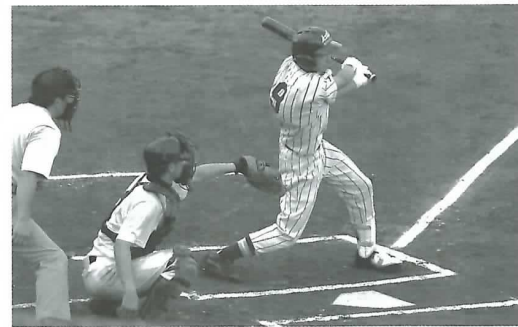
② 食堂台所の勝手ドアへの網戸設置と1階・2階網戸調整および修理
今年度については以上の2つを最優先に改修を実施しました。しかし、在校生がこれからも長く利用していくためには、修理や交換の必要な箇所がまだまだあります。これらについては、次年度以降計画的に修繕等を行い、同窓会の皆様から引き続き貴重な財産をこれからも大切にしていきたいと考えています。

総務部 鈴木 稔

同窓会会員の皆様方におかれましては日頃より本校野球部に対しては、多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、野球部OBで組織される北嶺会の皆様方には、物心両面に渡り野球部の運営に寄与されていますこと、この場をお借りしまして深く御礼と感謝を申し上げます。

さて、野球部は「2度目の甲子園大会出場」を目標に、部員・保護者・OB・指導者が一丸となり日々の活動に取り組んでいます。残念ながら近年の戦績が目立ったものはありませんが、着実に力をつけ目標の達成に向かって突き進んでいるところです。今年度の戦績について主な大会のみご報告させていただきます。春季大会は県中支部予選で1勝も出来ずに敗退し、2年ぶりの県大会出場を果たすことが出来ませんでした。夏の選手権大会では4回戦で第2シードの白河高校と対戦し敗退しましたが、10年ぶりとなるベスト16に進出することが出来ました。秋季大会は県中支部予選を準優勝し、2年連続で県大会の出場権を得ました。秋季県大会では1回戦を勝ち抜き、2回戦で聖光学院に敗退しました。夏以降の主な大会では昨年の戦績を上回り、ゆっくりではありませんがチームが良い方向に進んでいると確信しています。現在のチームは精神力・体力・技術において未熟な面が多々ありますが、しっかりと冬のトレーニングを行い全国大会でも勝てるチーム作りに精進したいと考えています。

高等学校野球連盟の「F」マークについて皆様方はご存知でしょうか。高校野球を観戦に行くと、野球関係者や役員の方が「F」マークの入った帽子とポロシャツを身に着けています。福島の「F」と勘違いされる方が多いのですが、マークは全国共通のもので4つの意味があります。「Federation」（連合、同盟）、「Fair play」（正々堂々）、「Friendship」（友情）、「Fight」（戦う）という意味があり、その形はホームベースの中に円（白球）が型どられ、中心に「F」が描かれています。全体的に深紅の色彩が施され、この色は若人の「情熱」を示しています。恥ずかしながら私がこの意味を知ったのは、高校野球の指導者となり3年目ぐらいの時だったと思います。



野球というスポーツは、その競技性や面白さゆえ大人から子供まで広く親しまれて来ました。しかしながら、高校野球・大学野球では「野球規則」はもちろんのこと、「日本学生野球憲章」「高校野球特別規則」「周知徹底事項」など様々な規則が設けられ、日々の練習や試合において体得することが求められます。ルールや規則は毎年のように訂正・追加され、私たちはこれを熟読・熟知して学校生活や野球の指導にあたる必要があります。

ルールや規則と同様に、現在の高校野球を取り巻く環境も時代の流れとともに変化していると感じます。最近では特待生問題による学生野球憲章の見直し、部員の問題行動の増加や指導者の部内暴力による謹慎・訓告等が大きく報道され、華やかな甲子園大会のイメージとは裏腹に、生徒指導で頭を悩ませている指導者が全国にたくさんいると思います。高校野球に限らず私生活や学校生活において「当たり前」だったことが薄れ行く中、時代の変化とともに生ずる社会的ルールやモラルについて、私たち大人が手本となり子供たちに教えて行く必要があると強く感じます。ある監督さんが「基本的な生活習慣や物事の考え方をしっかりと身につけさせれば、甲子園が迎えに来てくれるよ」と言っていました。私もこの言葉を信じ、微力ながら「健全な生徒の育成」に情熱を注いでいきたいと考えています。

野球部監督 加藤昌宏

生徒会だより

今年度の生徒会活動状況を報告します

生徒会顧問 山田 浩一

今年度も高校総体や県総体、新人大会で多くの部活動が上位大会へ出場し、大活躍いたしました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

四月に対面式や部活動紹介、生徒会総会を行い新入生を迎え、七月には今年で三十三回を数える校内球技大会が行われました。天候があまり良くはありませんでしたが、多くの生徒が自分たちで、早朝からグラウンド整備などを行い、全ての競技を予定通り行うことができました。大変盛り上がり、白熱した試合が多く展開されました。

九月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長には化学工学科二年生の小石沢光君が就任し、総勢十二名のメンバーで新たなスタートを切ることにになりました。十二月には本校に於いて、県中地区二十三高校による「生徒会長サミット」を開催しました。準備等大変なこともありましたが、多くの高校生と交流を持つことができ、貴重な体験をすることができました。同じ十二

月には吹奏楽部による第二十七回定期演奏会が、今年は郡山市民文化センターにおいて開催されました。生徒会役員も準備段階から協力し、当日も吹奏楽部員共々大いに盛り上がり、演奏会は大盛況でした。

また「ロボット競技大会」や「ものづくりコンテスト」等でも全国大会や東北大会などで活躍しました。運動部だけでなく、文化部も活発に活動していました。

今年度を振り返ると、文化部・運動部に多くの生徒が所属し、一生懸命に活動を行い、また日頃の練習の成果を十二分に発揮し、めざましい活躍を見せてくれました。

来年度に向けて新たなスタートを切り、生徒会活動をより活発なものにしていきたいと考えております。

東北旅一第850号・福島県知事登録第2-102号

(有)東北観光ツーリスト

(貸切バス・旅行企画募集)
各手配・レンタカー

福島県郡山市並木4丁目1-1
TEL:024-938-8577 FAX:024-938-8579

平成21年度

部活動大会成績報告

H22.2.5現在 上位成績を記載

全国大会

- ・ソフトボール部
 - 全国高等学校総合体育大会 2回戦
 - 第64回国民体育大会 第5位
- ・水泳部
 - 全国高等学校総合体育大会 出場
 - 100m・200m背泳ぎ 阿部哲也
- ・弓道部
 - 第28回全国高等学校弓道選抜大会 出場
- ・スピードスケート部
 - 全国高等学校総合体育大会 出場
 - 500m・1000m 松尾健治 下田幸樹
- ・コンピュータ部
 - 第17回全国高等学校ロボット競技大会 特別賞
- ・電気部
 - 第68回全日本学生児童発明くふう展 内閣総理大臣賞

東北大会

- ・ソフトテニス部
 - 第52回東北高等学校ソフトテニス選手権大会 出場
 - 平子 健・半澤 宏組
 - ベスト16 鈴木 俊・小林 稜組
- ・陸上部
 - 第64回東北高等学校陸上競技大会 出場
 - 男子4×100mリレー (江口、村上、佐藤、清水、菊地、茂木)
- ・卓球部
 - 第63回東北高等学校卓球選手権大会 出場
 - 男子ダブルスの部
- ・吹奏楽部
 - 第22回全日本マーチングコンテスト東北大会 銅賞
- ・アイスホッケー愛好会
 - 第36回東北総合体育大会 4位 (8名出場)

県大会

- ・野球部
 - 第91回全国高等学校野球選手権福島大会 4回戦
- ・バレー部
 - 第55回福島県高等学校体育大会 3位
- ・山岳部
 - 第62回福島県総合体育大会 (クライミング) 総合3位 藤田拓海
- ・剣道部
 - 福島県高等学校新人体育大会 出場
- ・ハンドボール部
 - 第62回福島県総合体育大会 ベスト8
- ・柔道部
 - 福島県高等学校新人体育大会 男子個人の部73kg級 第3位 上野 伸
- ・陸上部
 - 第62回福島県総合体育大会 男子槍投げ 第3位 三本松聡

地区大会

- ・野球部
 - 第61回秋季東北地区高等学校野球福島県大会県中支部大会 準優勝
- ・硬式テニス部
 - 福島県高等学校新人体育大会県南地区大会 個人戦ダブルス 第2位
- ・ラグビー部
 - 福島県高等学校新人体育大会県南地区大会 優勝

その他

- ・高校生ものづくりコンテスト2009東北大会
 - 旋盤作業部門 坪井勇磨 第1位
 - 電気工部門 遠藤賢一 第2位
- ・高校生ものづくりコンテスト2009福島県大会
 - 電気工部門 熊田貴大 第1位
 - 化学分析部門 矢吹雅寛 第2位

進路状況

卒業生からのメッセージ

進路指導主事 遠藤 仁一
 本校では卒業生に対して、卒業した年に「近況報告アンケート」を実施しております。昨年度に就職・進学した卒業生に実施した結果を一部ですがまとめました。

就職者へのアンケートで「あなたが勤務している企業において、入社後変更になった点は何か」の質問に対して、「ボーナス、勤務時間、給料、土日の勤務、職種」などがありました。「試験に関するアドバイス又は入社後のアドバイス等はありませんか」の質問に対して、「入社試験は絶対に面接が重要、第一印象が大事、入社後わからないことは積極的に先輩に聞くことで可愛がってもらえる、面接では明るく元気に面接をする、不景気で採用人数が少なくなっているので一生懸命がんばれ」など。

進学者へのアンケートで「入学試験に関するアドバイス又は入学後のアドバイス等はありませんか」の質問に対して、「北工では普通高校に比べて普通教科の授業が少ないので不足している分は各自で勉強しておく、専門学校を選択する際は趣味を仕事にした

いなら半端な気持ちで学校を選択しない方がいい」など。また「本校に対する要望等」の質問に対して、「服装頭髪が今の職場の規則と同じだったのでとても助かり先生方に感謝している、先日学科の先生方に県外に勤務している会社に来ていただき指導員の方に北工の先生は熱心だという高い評価をいただき改めて北工に誇りを持った」など。昨年度の卒業生の皆さん、御協力ありがとうございました。

さて、今年度の本校生の進路希望状況は一六四名が就職一四七名が進学となっており、今年度は進学希望者が例年より多かつたように思えます。これは日本経済の低迷による就職難が影響しているからと思われまます。

県内において、卒業予定の新規高卒者の就職内定率が昨年度より低下している中、工業高校の就職内定率はどの地区でも県全体の平均を上回っていることが明らかになりました。工業高校で専門的な基礎を学び製造業を希望している生徒達と、企業が求める人材とが合致した結果だと思われまます。本校の就職内定率は平成二十二年一月末現在、九五%となりました。

進学者は昨年度より希望者が増え、理工系への進学が依

然として多く、さらなる専門性を深めたいという思いが伺えます。進学者の多くが「指定校推薦」で進学しており、希望通りの大学・専門学校へ合格しております。

誰でも不安と希望を抱いて社会人になっていきます。今年卒業する生徒諸君、北工同窓生として頑張ってくださいませ。

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部
 平成22年1月29日現在 ()は女子内数

進路内定状況

科/組	機械	電気	電子	情報技術	建築	環境システム	化学工学	合計
在籍数	80 (2)	40 (1)	36 (0)	39 (5)	40 (7)	40 (7)	38 (7)	313 (29)
就職希望者数	44 (0)	25 (0)	15 (0)	12 (4)	20 (7)	27 (6)	21 (4)	164 (21)
就職内定数	28 (0)	13 (0)	11 (0)	10 (4)	9 (3)	14 (4)	17 (3)	102 (14)
就職未定	8 (0)	9 (0)	1 (0)	2 (0)	7 (3)	10 (1)	0 (0)	37 (4)
進学希望者	3 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	9 (1)
進学内定数	3 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	10 (0)
進学未定	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (1)	6 (2)
進学希望者	35 (0)	15 (1)	20 (0)	27 (1)	20 (0)	13 (1)	17 (3)	147 (6)
進学内定数	23 (0)	7 (0)	8 (0)	16 (0)	9 (0)	4 (0)	9 (0)	76 (0)
進学未定	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)
進学希望者	2 (0)	7 (0)	0 (0)	2 (0)	5 (0)	2 (0)	0 (0)	18 (0)
進学内定数	8 (0)	1 (1)	7 (0)	9 (1)	5 (0)	6 (0)	7 (2)	43 (4)
進学未定	3 (0)	1 (1)	16 (0)	27 (1)	19 (0)	13 (1)	16 (2)	139 (5)
進学希望者	15 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	8 (1)	33 (0)
進学未定	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
その他(不定)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
合計	80 (0)	40 (1)	36 (0)	39 (5)	40 (7)	40 (7)	38 (7)	313 (27)

産業別内定状況

産業別	機械	電気	電子	情報技術	建築	環境システム	化学工学	合計
農林	0	0	0	0	0	0	0	0
建設	1	6	5	0	6	3	0	16
製造	28	4	5	2	10	5	1	72
電気ガス	2	1	2	2	2	1	0	4
情報通信	0	0	0	1	2	1	0	4
運輸	1	2	0	0	0	0	0	3
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
電気ガス	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・研究開発	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊	0	0	0</					

平成20年度 決算報告

1 収入総額 4,181,906円 2 支出総額 3,908,630円 3 差引残高 273,276円

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増 △ 減	備考
繰越金	196,153	196,153	0	平成19年度からの繰越金
入会金	1,680,000	1,680,000	0	入学生280人×¥6,000
会費	1,878,000	1,860,000	△ 18,000	卒業生310人×¥6,000
会誌広告料	260,000	199,895	△ 60,105	10社
一般寄付	250,000	244,370	△ 5,630	
雑収入	847	1,488	641	預金利息
合計	4,265,000	4,181,906	△ 83,094	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	残額	備考
基本金	355,800	354,000	1,800	入会金・会費総額の1割
会議費	420,000	379,934	40,066	三役会 幹事会
事務費	60,000	31,030	28,970	事務用品等
慶弔費	70,000	39,596	30,404	香典等
通信費	1,550,000	1,549,680	320	会報(59号)発送費等
旅費	130,000	95,220	34,780	本部 東京・日立 水戸
会誌編集費	700,000	668,640	31,360	会誌(59号)印刷
渉外費	90,000	50,250	39,750	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	210,000	181,387	28,613	卒業記念品 会長賞
事務局費	60,000	59,990	10	事務局会議費
北嶺祭	0	0	0	学校祭補助
支部助成金	130,000	130,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	50,000	25,725	24,275	学校案内印刷
総会費	350,000	338,058	11,942	総会補助
予備費	89,200	5,120	84,080	通信費追加分等
合計	4,265,000	3,908,630	356,370	

3. 差引残額¥273,276 は次年度へ繰り越します。

平成20年度 基本金報告

定期預金(～19年度)	4,553,663 円	定期預金
平成20年度基本金	354,000 円	定期預金
合計	4,907,663 円	

平成20年度会計監査報告

平成21年4月3日の監査の結果、異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大
中村 弘
世山 忠 昭

平成20年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H20 4. 8 19	平成20年度入学式 第1回 幹事会	会長、副会長、出席 平成20年度定期総会について	学校 ホテルハマツ
5. 19 5. 31	第1回 三役会 第2回 幹事会	平成20年度定期総会について 平成20年度定期総会チケット回収	龍宮城 龍宮城
6. 21 6. 28	平成20年度定期総会 日立支部総会	校長、会長、事務局 計3名出席	ホテルハマツ 日立市
7. 23	第2回 三役会	定期総会決算報告および新幹事の委嘱について 平成21年度定期総会会場について	龍宮城
9. 22	第3回 幹事会	定期総会反省会、新役員紹介 第59号同窓会報について	ホテルハマツ
11. 22	第4回 幹事会	今後の活動方針について (平成21年度定期総会、同窓会報の内容等について)	龍宮城
H21 2. 23 28	同窓会報(59号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長 出席	学校
3. 1 3. 15 4. 4	平成20年度卒業式 同窓会報(59号)発送 会計監査	会長、副会長 出席 平成20年度会計	学校 いろはにほへと (駅前)

平成20年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成21年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,416名 電気科 2,319名 電子科 1,269名 情報技術科 1,194名 建築科 1,267名 環境システム科 461名 化学工学科 2,301名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月閉課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 12,900名
合計 22,707名		

職員異動報告 (平成21年度)

転入者

No.	職名	氏名	教科	前任校
1	教頭	藤田 登	数学	白河旭高校
2	教諭	会沢 尚公	数学	東白川農商高校
3	教諭	鈴木 和馬	数学	磐城農業高校
4	常勤講師	真船 博美	数学	清陵情報高校
5	教諭	山田 浩一	英語	小野高校
6	教諭	永山 広克	機械	清陵情報高校
7	教諭	厚海 隆	電子	組合専従
8	実習教諭	阿部 米子	電子	白河実業高校
9	教諭	東海 隼人	建築	新採用
10	時間講師	本間 隆建	建築	初任研補充
11	副実習助手	宮田 健児	環境	清陵情報高校
12	実習助手	高橋 由美	化学	勿来工業高校
13	事務局長	飯野 俊子	事務	県立医科大学
14	主査	佐藤 洋子	事務	県中地方振興局
15	主任学校司書	星 峰子	図書	清陵情報高校

転退職者

No.	職名	氏名	教科	転出先
1	副実習助手	塩野 学	環境	退職
2	教頭	長谷川和弘	数学	保原高校
3	教諭	関根 珠美	数学	須賀川高校
4	教諭	山崎 俊寿	数学	田村高校
5	教諭	大森 史仁	保健体育	須賀川高校
6	教諭	押久保正行	英語	田村高校
7	教諭	帆足 勉	機械	安達東高校
8	教諭	遠藤 英一	電子	端工業高校
9	教諭	嶋原 敬	環境	福島工業高校
10	実習講師	丹野 智春	電子	二本松工業高校
11	実習教諭	片岡 宏記	化学	福島工業高校
12	再任用教諭	安田 博	数学	郡山高校
13	常勤講師	吉田 絢子	数学	清陵情報高校
14	常勤講師	熊田 尚	建築	会津工業高校(新採用)
15	事務局長	穴戸 正幸	事務	安積高校
16	主査	佐藤 浩子	事務	県中地方振興局
17	主任学校司書	村上 明子	図書	福島西高校

平成20年度 新会員報告

科	人数
機械科	80名
電気科	38名
電子科	37名
情報技術科	39名
建築科	39名
環境システム科	38名
化学工学科	39名
合計	310名

環境と共生し、テクノロジーで未来を拓く 石橋工業株式会社

代表取締役社長 石橋 秀郎

〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字三渡1番地
TEL 024-945-3411 FAX 024-945-0176
http://www.ishibashi-tec.co.jp
E-mail:office@ishibashi-tec.co.jp

(関連会社) ㈱エーシーティーコーポレーション TEL 024-945-3411
石橋ヘルス温泉 TEL 024-946-7800

マイクロバス(29人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)・乗用車
ライトバン・トラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・4t)・3t積載車
冷凍冷蔵庫(軽・2t・3t積)の御用命は……

有限会社
郡山中央レンタカー
あいおい損害保険代理店

代表取締役 渡邊 俊彦

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3
☎ (024) 924-0844・932-8828
FAX (024) 934-5334 〒963-8061
URL: http://www.kcr.jp

平成21年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	勤務先名	卒校	年度	科
相談役	植田 英一	前県議会議員			
顧問	渡辺 達英	(有)渡達	郡工	24	機
顧問	滝田 孝太郎		西工	42	電
会長	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡工	42	定電
副会長	古川 弘	(有)古川弘建築設計室	郡工	40	建
副会長	伊勢野 敏雄	(株)うすい百貨店	西工	43	電
副会長	熊田 晃大	荒牧建設(株)	北工	54	建
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡工	26	機
〃	柳沼 幸代	八光建設(株)	郡工	51	建
〃	笹山 忠昭	ヒツマテリアル(株)	北工	53	機
幹事	落合 弘		郡工	32	機
〃	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡工	33	建
〃	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡工	39	定機
〃	渡辺 俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡工	40	定機
〃	渡辺 千尋	あさか開成高等学校	西工	43	化工
〃	柳沼 隆夫	郡山市議会議員	西工	45	機
〃	佐久間保一	結建築研究室	郡工	46	建
〃	今井 久敏	福島県議会議員	西工	46	機
〃	宗像 恭一	アトリエビューアー一級建築士事務所	郡工	48	建
〃	中村 弘		西工	49	電
〃	柳沼 信一	(有)県南通信サービス	西工	49	電
〃	竹中 広之	(有)竹中電気	郡工	50	定電
〃	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡工	51	定電
〃	大原 英雄	(株)ワークサポート	北工	53	化工
〃	今泉 恵一	(株)PMCテクニカ	北工	54	機
〃	田母神一吉	(有)テクノス	北工	54	建
〃	影山 春男	白河実業高校	北工	56	電
〃	浦井 照夫	福島工業高等学校	北工	59	機
〃	國道 美行	二本松工業高等学校	北工	59	機
〃	渋谷 健夫	(株)シブヤ	北工	62	機
〃	今泉 健太郎	(株)香設計	北工	1	建
〃	高村 幸恵	(有)桑原工務店	北工	6	建
〃	千葉 祐子	大明通産(株)東北支店	北工	6	建
〃	小林 吉行	(有)ウェルコスモ	北工	6	建
〃	小林 剛	(有)ワタナベ建築	北工	7	建
〃	橋本 直樹	本格中国料理 龍宮城	北工	9	機

運動部兼任幹事

サッカー部幹事	佐藤 伸宣	関彰商事(株)	北工	61	化工
ソフトテニス部幹事	高橋 雅	ソニーエナジー・デバイス(株)	北工	18	機
ソフトボール部幹事	柳沼 一成	学校法人 尚志高等学校	北工	7	子
バレー部幹事	国分 常弘		北工	53	建

企業内支部

支部長	菅井 貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西工	46	化工
〃	橋本 孝行	石橋工業(株)	郡工	50	機
〃	宗像 文雄	(株)エディソン	郡工	50	電
〃	青木 博泰	林精器製造(株)	北工	52	機
〃	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北工	52	化工
〃	七海 孝夫	(株)ヤマキ電気郡山事業所	北工	53	電
〃	本田 昇意	コマツ福島(株)	北工	54	機
〃	橋本 政夫	(株)ザイン	北工	55	機
〃	岩崎 洋一	ハマツ観光(株)	北工	61	建
〃	三本木 覚	(株)朝日ラバー泉崎工場	北工	62	機
〃	郡司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北工	11	電

クラス代表幹事

H18代表幹事	安齊 健太	(株)エヌケー製作所	北工	18	環境
〃	関川 大輝	日本電産コパル(株)	北工	18	機
H19代表幹事	松岡 直道	AGCエレクトロニクス(株)	北工	19	情
〃	矢吹 良昭	松下電工(株)	北工	19	機
H20代表幹事	齋藤 祐太	(株)クリエイティブダイワ	北工	20	電
〃	石山 寛仁	日本大学工学部	北工	20	建

同窓会支部長

東京支部長	小澤 満		郡工	28	建
日立支部長	丸山 正一	(株)日立製作所	郡工	48	電
水戸支部長	八代 正雄		郡工	34	電

同窓会事務局

事務局 局長	柳沼 善久	郡山北工業高等学校	郡工	51	子
事務局 次長	阿部 昇二	郡山北工業高等学校	郡工	51	子
〃	本田 文一	郡山北工業高等学校	北工	52	子
会計	船山 卓也	郡山北工業高等学校	北工	1	電
事務局 員	田母神三知夫	郡山北工業高等学校	郡工	43	機
〃	熊田 志郎	郡山北工業高等学校	郡工	49	化工
〃	佐々木 都雄	郡山北工業高等学校	西工	50	機
〃	笹島 貞夫	郡山北工業高等学校	北工	61	子

平成21年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

敬称略

氏名	卒年度	科	氏名	卒年度	科
兼田 正男	西46	電	神奈川	根本 源太郎	旧職員
佐久間 房次	旧職員	郡山	市	有賀 常民	郡37
齋藤 昭夫	旧職員	郡山	市	八代 正雄	郡34
鹿又 長治	旧職員	田村	市	伊藤 孝雄	郡32
三坂 幸子	北8	化工	郡山	栗山 芳光	郡39
村田 正作	旧職員	郡山	市	鈴木 七郎	旧職員
北原 正三	旧職員	福島	市	遠藤 和夫	郡42
増子 哲	郡22	機	郡山	石井 茂	郡29
田中 良夫	郡41	機	栃木	酒井 利夫	郡40
黒坂 亨	北54	建	郡山	柳沼 喜七	郡40
長谷 沼恒一	旧職員	喜多	方	村越 栄二	北52
太田 伊智郎	西51	機	郡山	竹田 道廣	郡33
渡辺 正春	郡48	建	千葉	大河内 将俊	郡36
坂本 守	郡35	機	郡山	小池 芳光	郡27
高木 洋一	郡29	機	埼玉	坂野 勇一	郡32
橋本 七郎	郡26	機	東京	小山 良一	郡33
小池 勝衛	郡34	機	神奈川	猪狩 次夫	旧職員
畑 吉春	郡29	機	東京	安藤 和義	西44
高原 三郎	郡27	機	愛知	平岡 信栄	郡41
松本 正勝	北04	機	田村	郡	渡辺 千尋
松本 充正	郡37	機	三重	渡辺 郁恵	北11
関 勝彦	郡40	機	千葉	渡辺 しのぶ	北15
増子 久治	郡43	定電	郡山	西勝 丈夫	旧職員
阿部 文英	旧職員	郡山	市	山崎 功	郡29

※順不同

一般寄付のお礼とお願い

会報の発送に併せて一般寄付のお願いを致しましたところ、48名の皆様より寄付を頂戴致しました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせていただきます。

時代の趨勢から寄付金は減少傾向にあります。このような状況ですので、尚一層のご協力を賜りたいと存じます。本年度も同窓会会員の皆様ならびに旧教職員の方々にご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。ご寄付の際は、払込取扱票の金額欄、ご依頼人の欄および通信欄を記入のうえ郵便局(ゆうちょ銀行)にて払い込み下さるようお願い致します。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が参加費を納入する場合にもお使いいただけます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○を付けて、払い込み下さるようお願い致します。

株式会社 東北セイワ

DO AMENITY ビル総合管理
代表取締役 森田 徹
本社/福島県郡山市堤三丁目186番地
TEL 024-952-8355 FAX 024-952-8377
E-mail: t-seiwa@topaz.plala.or.jp
http://www.hkr.co.jp/tohokuseiwa

ビル総合管理 冷暖房機器保守管理・工事
建築物設備管理保全業務 空調機器保守管理・工事
消防防災設備保守管理・工事 省エネルギー工事
特殊建築物調査/建築設備検査 節水システム販売・工事
建築物環境衛生管理業務 防犯設備/住宅火災警報器
水道工事/管工事 造園設計施工

プロパンガス・灯油販売・水道工事・下水道工事
フレンドホーム 正しい家づくり ⑧通気断熱U工法
冷暖房設備工事・新築・リフォーム

SHIN SAN 株式会社 新産
代表取締役 二瓶 剛一
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4
TEL(024)922-4815 TEL(024)934-1430
ホームページ http://www.sin3.jp
E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp

